

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

研究開発課題名	Staple 核酸を用いた新規核酸医薬開発
代表機関名	国立大学法人熊本大学
研究開発代表者名	勝田 陽介
全研究開発期間	令和元年度～令和3年度

1. 研究開発成果

事後報告書(下 URL)参照

<https://www.amed.go.jp/content/000101257.pdf>

2. 総合評価

・ 良い

【評価コメント】

核酸医薬の新たな概念を検証するため、in vivo 動物モデルで Staple 核酸の有効性を明らかにし、新規核酸医薬品開発の基盤技術としての可能性を示すと共に、標的遺伝子拡大に向けて改良型 Staple 核酸にも着手し、ユニークな視点で優れた成果を得ており評価できる。

今後、Staple 核酸のターゲット疾患の検討も含めて汎用性や実用性を明確化し、様々な疾患に対する治療薬として導出されるよう、本研究のさらなる発展を期待する。

以上